

ぞらびや 議会だより

市政推進・議会改革に向けて

平成29年8月定例・10月臨時会版

新議員4年間の挑戦開始



主な内容

新議員紹介	2ページ
新議長・副議長、常任委員会委員などを決定	4ページ
8月定例・10月臨時市議会	6ページ
8月定例市議会一般質問	8ページ
委員会活動報告	12ページ

紹介します 新議員

22人一丸で新たに活動開始

お気軽にご意見を

平成29年9月24日執行の総社市議会議員選挙において、新しく22名の議員が誕生し、10月2日付けで就任しました。平成33年10月1日の任期まで、今後4年間、市民の代表として市政の発展に努める議員を、議席番号順に紹介します。

本市議会では、従前から広く市民の皆様からの意見を聴く広聴に取り組んでいます。議員の電話番号も掲載いたしますので、地域でお困りのこと、市政への提案などがありましたら、お気軽にお近くの市議会議員にご連絡ください。皆様のご意見をお待ちしています。



1 山田 雅徳(無所属)
井手520番地11
☎ 92-5492
☎ 080-8031-5738
誰にでも分かりやすい情報発信に努めます！



2 溝手 宣良(無所属)
西阿曾225番地3
☎ 99-9543
☎ 090-1359-1161
全力投球をモットーに精一杯頑張ります



3 三上 周治(無所属)
上原146番地
☎ 92-3407
☎ 090-2868-9443
身近な暮らしを大切に明るい総社を作ります



4 仲達 幸弘(日本共産党)
美袋1611番地
☎ 99-1016
☎ 090-4576-9279
くらしと福祉を第一にがんばります！



5 萱野 哲也(無所属)
清音軽部16番地
☎ 31-7743
☎ 090-6412-2813
市民の皆様の声や想いを聞かせてください



6 三宅 啓介(無所属)
井手381番地3
☎ 93-7079
☎ 090-2808-9116
子育て王国そうじゃの充実を目指します！！



8 深見 昌宏(無所属)
総社二丁目17番38号
☎ 92-0063
☎ 090-3173-0790
笑顔があふれる街づくり頑張ります



9 小川 進一(無所属)
総社二丁目19番12号
☎ 92-0687
☎ 090-3173-0922
子育てとまちづくりで住み続けたい総社市に



10 高谷 幸男(無所属)
溝口269番地
☎ 92-5161
☎ 090-3171-9407
安全安心のまちづくりと自治組織の推進を！！



11 小西 義巳(無所属)
秦3287番地
☎ 95-8306
☎ 090-3372-4249
初心にかえり、一生懸命、頑張ります



12 難波 正吾(日本共産党)
北溝手69番地3
☎ 92-1881
☎ 090-2295-0715
誠実は人間最高の善である



13 小西 利一(無所属)
下原895番地
☎ 92-5076
☎ 090-8712-2790
初心を忘れず行政のチェックを厳しく行います



14 津神謙太郎(無所属)
南溝手492番地4
☎ 94-3855
☎ 090-2005-0732
安心と生きがいのある地域社会を目指します



15 村木 理英(無所属)
門田566番地2
☎ 92-7751
☎ 090-4690-3318
すぐ行動し信念を持ってやり遂げます



16 頓宮美津子(公明党)
三須616番地28
☎ 92-6107
☎ 080-9804-8595
原点に立ち帰り、皆様の声に応じて参ります



17 赤澤 康宏(無所属)
清音柿木83番地
☎ 93-1871
☎ 080-1905-2312
高齢者、障がい者、子どもたちに安心を



18 名木田正昭(無所属)
久代4243番地
☎ 96-2007
☎ 090-7770-2268
西部地域の格差是正と弱者対策



19 加藤 保博(無所属)
溝口179番地2
☎ 92-0782
☎ 090-8710-4513
市民皆さまの目線で提言を続行して参ります



20 根馬 和子(無所属)
宿1440番地
☎ 92-0453
☎ 090-4806-7677
愛と和ですべての人がしあわせな「まち」に！！



21 山口 久子(無所属)
美袋1629番地1
☎ 99-1140
☎ 090-3371-9478
皆さんのお声を聴かせてください。いつでもOK



22 剣持 堅吾(無所属)
地頭片山53番地27
☎ 94-0895
☎ 090-8714-8059
これからの総社市の発展をめざして

[掲載情報]

議席番号

氏名(党派)
住所
電話番号(市外局番 0866)
携帯電話番号
ひとことメッセージ

「総社市議会議長交際費の支出基準及び公表に関する要綱」に基づき、議長の交際費の執行状況を公表します。

[平成29年7～9月分] (単位:円)

支出区分	支出年月日	支出金額	支出先等
お祝い	8/3	30,000	大臣就任祝い(生花)
土産等	7/6	5,886	行政視察先(総務生活委員会) 福島県相馬市議会来総
	7/9	1,830	
募金	7/23	5,000	原水爆禁止2017年国民平和大行進
合計	-	42,716	-
4月からの累計	-	75,258	-

選挙後のあいさつ行為の制限について

選挙期間中の市民の皆さんのご理解とご協力に厚くお礼申し上げます。なお、公職選挙法の規定により、選挙後は、誰であつても当選または落選に関するあいさつをする目的で、**選挙人に関する戸別訪問などの行為をすることはできません。**

ご理解とご協力をお願いいたします。

3 常任委員会、議会運営委員会 委員決定

議会選出の監査委員は小西利一氏

10月2日臨時市議会では、監査委員の選出、各常任委員会及び所属議員も決定されました。今回の任期から議員定数が24人から22人に2人減ったことに伴い、各常任委員会の委員定数を、総務生活委員会8人、文教福祉委員会7人、産業建設委員会7人へと変更しました。また、同日議会運営委員会の構成も決まりました。監査委員、各常任委員会、議会運営委員会の構成、所掌事務の内容などは次のとおりです。(以下敬称略)

議会選出の監査委員 小西利一

総務生活委員会

【委員長】難波正吾 【副委員長】根馬和子
 【委員】溝手宣良 三宅啓介 高谷幸男
 小西利一 頓宮美津子 赤澤康宏

総務生活委員会では、総合政策部、市民生活部、消防本部等の事務を所管します。移住定住の推進、吉備線LRT化、消防救急業務に関する案件などを議論していきます。

産業建設委員会

【委員長】名木田正昭 【副委員長】岡崎亨一
 【委員】山田雅徳 仲達幸弘 小川進一
 小西義巳 津神謙太郎

産業建設委員会は、産業部、建設部、環境水道部の事務を所管します。農林事業、南北道等の道路整備、自然環境保全の推進などの案件を議論していきます。

文教福祉委員会

【委員長】深見昌宏 【副委員長】萱野哲也
 【委員】三上周治 村木理英 加藤保博
 山口久子 剣持堅吾

文教福祉委員会は、保健福祉部、教育委員会の事務を所管します。保健衛生や障がい者福祉に関する事、学校教育、文化芸術などの案件を議論していきます。

議会運営委員会

【委員長】頓宮美津子 【副委員長】剣持堅吾
 【委員】岡崎亨一 深見昌宏 小川進一
 難波正吾 村木理英 赤澤康宏
 名木田正昭

議会運営委員会は議会運営の舵取りを行い、議長の諮問事項などの重要案件を調査、協議します。

日時	内容
11月30日(木)	開会
12月6日(水)	一般質問
12月7日(木)	一般質問
12月8日(金)	一般質問
12月11日(月)	一般質問・質疑
12月12日(火)	委員会
12月13日(水)	委員会
12月14日(木)	委員会
12月21日(木)	閉会

※各日午前10時開始予定です。
 問い合わせ 議会事務局 TEL92-8332

新たな議員の一般質問に注目 11月定例会
 議員改選後、初めての定例会である11月定例会市議会は、次の予定で行われます。本会議をご覧いただく方法は、議場での傍聴、倉敷ケーブルテレビの視聴、インターネットの動画配信などがあります。各常任委員会開催日程はホームページでお知らせします。傍聴希望は事前に議会事務局までご連絡ください。
 4年の任期が始まります。新たな議員での本会議にご注目ください。

新たな正副議長決定

議長ご挨拶

この度、総社市議会第8代目の議長に就任させていただきました。議長就任の上では、議会基本条例に基づき、市民に開かれた議会を目指し、市民目線に立って、市民の方に分かってもらえる改革を一つ一つ確実に進めていきます。また、開かれた議長室を心がけ、議員間の議論を深めながら、議会内部の改革も実行していきたいと思っております。
 今回任期から議員定数は22人へと2人減りますが、二元代表制の機関として、今後も監視機能を発揮するべく、議員一丸となり、市民の期待に全力で応えられる市議会にして参りたいと思っております。どうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



新議長 加藤 保博 議員

新副議長 津神 謙太郎 議員



副議長ご挨拶

この度、副議長に就任することとなり、責任の重大さを感じています。議長と一体となって各議員と意思疎通を図り、議長を補佐しながらしっかりと議会運営を行っていきよう努力して参ります。市民の代弁者として、議会が立法機能、政策形成機能の強化を図るべきだと考えます。市民との距離が近い議会が市民意見を反映させ、政策、条例を制定し、市長に対して政策提言を行うことで、市長と議会との緊張感を生み出すと考えています。
 市民の代表としてその負託と信頼に応えられるよう、全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

正副議長選で所信表明会を実施

10月2日の10月臨時市議会で行われた正副議長選挙では、投票に先立ち、第1委員会室で所信表明会を実施しました。所信表明会は議長・副議長の選任過程を開かれたものにするため平成27年10月から実施し、今回で2回目の実施です。所信表明は、議長選挙では加藤保博議員と山口久子議員の2名が、副議長選挙では津神謙太郎議員と根馬和子議員の2名が行いました。それぞれ5分程度で、議会報告会の充実、災害時の行動指針策定、情報公開の推進等を訴え、支持を呼び掛けました。

その後、議員22人による正副議長選挙の投票がそれぞれ行われ、新議長に加藤保博議員、新副議長に津神謙太郎議員が決定しました。(選挙結果は左表のとおり・敬称略)

議長選挙結果	
加藤 保博	12票
山口 久子	10票
副議長選挙結果	
津神 謙太郎	15票
根馬 和子	6票
無効票	1票

大規模災害被災者受入れ条例を可決
総務生活委員会では「市民優先」の附帯決議を決定

8月定例市議会

8月定例市議会を8月21日から9月7日までの18日間の会期で開き、議案25件(左ページのとおりの審査をしました。

障がい者千五百人雇用に向けて改正条例を可決

障がい者千人の雇用を本年5月に達成したことから、「障がい者千五百人雇用」という目標を掲げ、障がい者雇用の更なる推進を図るため条例改正するもので、賛成多数で可決しました。

大規模災害被災者受入れ条例には委員会でも附帯決議

発生が予想される南海トラフ地震等の大規模な災害に見舞われた地域から本市へ避難した被災者に対して、居住環境を確保し、必要な支援を行

うことにより、被災者の生活再建に寄与するための条例で、全会一致で可決しました。(総務生活委員会でも附帯決議が付されました。詳細は12ページ)

平成28年度決算を認定

認定された決算は、一般会計と特別会計、公営企業会計の全10会計です。一般会計決算認定の本会議採決では、「職員の残業が多く、過重労働である。鶴の対策の改善が不十分である。市道の舗装修繕が少ない」旨の反対討論がありました。起立採決の結果、賛成多数で認定しました。お話し住宅整備、健康インセンティブ事業等補正予算可決

00万円、被災者受入れに伴う災害避難者支援事業として家賃助成、避難生活支援金などをを行うため1千万円、第10回記念大会となる吉備路マラソンのボランティアウェア作成、ゲストランナー招聘等の負担金として、1千万円。また、「いきいきチケット」交付額を一人当たり年額5千円から1万円に倍増する経費として221万3千円、医療費を抑制するため、インターネットを活用し、歩くことに重点を置いた新たな健康インセンティブ事業を実施するための準備経費1490万6千円。さらには、サイクリング・ランニング・ウォーキング促進にあたり、サンロード吉備路拠点整備に848万6千円、市役所周辺のコース新設に3800万円、高梁川河川敷グランドには、ランニングコースの新設を含み1億802万5千円、平成29年10月から中学3年生を対象にインフル

エンザ予防接種費用(任意)の一部助成を行うもの120万円などです。本会議の採決では「フォーラム開催には補助事業を活用すべき」旨の反対討論がありました。採決の結果、賛成多数で可決しました。一般会計予算の総額は、275億5760万円となりました。

人権擁護委員候補者推薦同意

本市推薦の人権擁護委員の候補者として、中村剛氏(三輪)、山本績氏(久代)を推薦することに同意しました。任期は、平成30年1月1日から平成32年12月31日までです。

10月臨時市議会

10月臨時市議会を10月2日に開き、正副議長選挙、議会選出の監査委員の選任、各常任委員の選任等を行いました。(詳細は4、5ページのとおり)また、衆議院議員選挙に要する補正予算を可決しました。

平成29年8月定例総社市議会 付議事件採決一覧表

番号	付議事件	結果
報告第4号	平成28年度総社市健全化判断比率及び資金不足比率について	報告を受けた
報告第5号	地方自治法第180条第1項の規定による専決処分について ※庁用自動車の事故に係る損害賠償及び和解について	報告を受けた
議案第45号	総社市大規模災害被災者の受入れに関する条例の制定について	原案可決
議案第46号	総社市障がい者千人雇用推進条例の一部改正について	原案可決
議案第47号	総社市はばたき園基金条例の制定について	原案可決
議案第48号	土地改良事業の計画の概要について	原案可決
議案第49号	平成28年度総社市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決
議案第50号	平成28年度総社市工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決
議案第51号	平成29年度総社市一般会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第52号	平成29年度総社市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第53号	平成29年度総社市総社駅南地区土地区画整理事業費特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第54号	平成29年度総社市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
認定第1号	平成28年度総社市一般会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第2号	平成28年度総社市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第3号	平成28年度総社市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第4号	平成28年度総社市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第5号	平成28年度総社市農業集落排水事業費特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第6号	平成28年度総社市公共下水道事業費特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第7号	平成28年度総社市国民宿舎事業費特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第8号	平成28年度総社市総社駅南地区土地区画整理事業費特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第9号	平成28年度総社市水道事業会計決算認定について	認定
認定第10号	平成28年度総社市工業用水道事業会計決算認定について	認定
意見第2号	人権擁護委員の候補者の推薦に関する意見を求めることについて	推薦に同意
意見第3号	人権擁護委員の候補者の推薦に関する意見を求めることについて	推薦に同意
議案乙第2号	総社市議会委員会条例の一部改正について	原案可決

平成29年10月臨時総社市議会 付議事件採決一覧表

番号	付議事件	結果
議案第55号	平成29年度総社市一般会計補正予算(第3号)	原案可決
同意第25号	監査委員の選任に関する同意を求めることについて	同意

平成29年8月定例総社市議会での賛否の分かれた議案等に対する賛否状況

(凡例) ○:賛成 ×:賛成でない 退:退席 欠:欠席

議案等	議員名													議決結果												
	菅野哲也	三宅啓介	岡崎亨一	深見昌宏	小川進一	高谷幸男	小西義巳	難波正吾	小西利一	津神謙太郎	村木理英	頓宮美津子	赤澤康宏		片岡茂夫	塩見禎章	名木田正昭	加藤保博	笠原武士	根馬和子	山口久子	剣持堅吾	大熊公平	西森頼夫		
議案第46号	総社市障がい者千人雇用推進条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第51号	平成29年度総社市一般会計補正予算(第2号)	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
認定第1号	平成28年度総社市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定

・賛否の確認は、議長及び事務局職員の目視により行っています。 ・荒木勝美議員は、議長のため採決には加わりません。



高谷 幸男

問 県産材活用による住宅新築への支援制度はどうか

答 地元建築業者育成も考えながら新年度に創設したい

問 総社駅前及び駅周辺の活性化策は、今後どのように考えるか。

市長 立地適正化計画などで十分検討しながら、民間活力も導入し、誘致活動も考え、活性化に取り組みたい。

問 土木担当員の要望について、予算不足のため十分対応できていない。大幅な予算計上が求められるかどうか。

市長 前年度より増額しており、更に増額したい。自由枠交付金制度も活用してほしい。

問 商店街のカルチャーセンターについて、今後どのように活用するのか。

市長 現有施設を改修するか、建て替えるかは、地元の考え



立地適正化計画等も考慮した活性化対策が望まれる総社駅前

を聞きながら十分検討したい。

問 登録有形文化財で、来年開館30周年を迎える「まちかど郷土館」のエアコン設置をどのように考えるか。

市長 設置する方向で進めたい。



西森 頼夫

問 別居のため新築をする場合は市で応援できないか

答 市内業者で新築したら助成する制度を作る

問 移住定住特区事業は、指定地区に来た人や帰ってきた人には助成されるが、別居するため地区内に新築した人には助成されない。改善すべきではないか。

市長 一戸建ての家が毎年300軒も建てられているが、ほとんど大手の建築会社が建っている。市内業者が応援の観点から、市内業者が建築した場合の市内全域での助成制度を作りたい。

問 学校給食は、給食調理場の維持管理、人件費、搬送は市が負担し、給食の食材は保護者負担で運営している。地産地消で市内産の食材を増やし、その購入費は市が負担する制度にできないか。

問 学校給食について

市長 学校給食は、給食調理場の維持管理、人件費、搬送は市が負担し、給食の食材は保護者負担で運営している。地産地消で市内産の食材を増やし、その購入費は市が負担する制度にできないか。

市長 食材に市の負担はできない。地食べ公社が農家から仕入れて給食に販売する方法で市内産を増やす努力をした。

問 認知症について

市長 認知症患者は年々増えているが市内に何人いるか。また、認知症による精神障害保健福祉手帳を受けている人は何人か。認知症と診断されて6か月経過すれば手帳の申請ができる。診断書をもらえば申請ができるよう周知すべきだがどうか。

市長 認知症と推定される人は市内に1729人である。認知症という病名で精神保健福祉手帳をお持ちの方は、10人だ。周知に努める。



緊急通報装置

問 利用状況はどうか。

市長 24時間体制で見守り、救急車の対応もしている。1台の月額が1728円で、年間1人当たり約2万円必要となる。平成28年度総事業費は約526万円で、平成28年度からは、全て公費で負担し、利用者の負担は無料としている。利用者は現在239人で、通報件数は、平成29年度5件、平成28年度8件だった。

問 申請書の簡素化について

市長 支援者が3名必要で、その人の印鑑も必要となってはどうか。

問 申請書の簡素化について

市長 支援者が3名必要で、その人の印鑑も必要となってはどうか。

問 緊急通報装置を昼間独居の高齢者へ拡充してはどうか

答 良いことだと思つので検討する

おり、利用しにくい状況だと思つ。独居高齢者の数はこのようなものではないと思つので、申請を簡素化していく。

問 小中学校の施設整備について

市長 グラウンドの水はけ、水溜り等の問題はどうか。

教育長 一部の学校で問題がある。特に東・西中学校と池田小学校と認識している。

問 問題の把握はいつ頃からしていたのか。また、改善の計画はどうか。

教育長 5年前からの学校要望で把握していた。少々の改善はしてきたが、抜本的なものとはいえないので、今年度再度計画を作成する予定である。構造上、周囲との高低差、側溝の問題があるが、何とか解消したいと思つ。



岡崎 亨一

問 緊急通報装置を昼間独居の高齢者へ拡充してはどうか

答 良いことだと思つので検討する



萱野 哲也

問 飲み会の写真を公式SNSに載せるのは不適切ではないか

答 それが事実なら良くない

問 広報そうじゃでの情報発信は、各担当課が編集した記事を市情報課が編集し、最終的には市長のチェックが入るが、フェイスブック(SNS)を使っての情報発信は誰の責任で行うのか。

総合政策部長 スピードに情報発信をする必要があり、各担当課で運用している。

問 障がい者千人雇用フォーラムが終わった後、打ち上げとして、市内の焼き鳥屋で市長を囲み、女性職員や職員OB、そして市からの補助金等で運営している団体の人と酒を飲んでいる写真を、市の公式なフェイスブックに載せているがどうか。

市長 良くない。

問 この飲み会は、公式な

市長 良くない。

フェイスブックにアップする以上、公式な行事か。

保健福祉部長 公式な行事ではない。

問 公式な行事でなければ利害関係者との飲み会は、届出が必要ではないか。

保健福祉部長 届出は必要ない。コンプライアンス推進室との相談で、必要なとした。

問 最終的には、焼き鳥屋での飲み会の写真は市の公式なフェイスブックから削除しているが、理由は何か。

保健福祉部長 市民の誤解を招く写真であったため、削除した。

問 職員の倫理とモラルを持つて対応してほしいがどうか。

市長 対応していく。

市長 対応していく。



根馬 和子

問 セロリの生産が減少しているが保護拡大はどうするか

答 今後はセロリのバックアップ政策で次世代へつなぐ

問 昭和50年代には80軒あったセロリ農家も、今は5軒と地食ベ公社が生産をしているだけだ。発芽施設や生産のビニールハウスも老朽化している。高齢化で次世代への継承もままならない状況となっているが、地場産業として定着させる方策はどうか。

市長 かつて西日本有数のセロリ産地として栄えた。今後は、しっかりと政策として取り組み復活させる。

「子育て王国そうじゃ」の充実に

問 親子で遊び、楽しみ学べる児童館の建設や充実は考えられないか。

市長 全ての子どもが笑顔で成長していくために子どももの育ちを支えあう方針の下、地

域で子どもたちを育てる応援団が多くいる。今は、児童館の建設は厳しい。

問 就学前の子どもの情緒障がい等でグレーゾーンと診断された親子へのフォローはどのようにしているか。

保健福祉部長 1歳半、3歳児は健診で診断し、療育相談を実施し、4歳児では、集団生活に適応できる支援を行っている。また、北小学校の「きらり」で情緒障がい通級指導教室を設けている。

問 保育士は、乳幼児を健全に育てるため心身を使う大変な仕事だ。給与実態はどうか。
市長 給与の安さは見受けられる。この度年間2万円を直接本人に渡すため、予算を上げていく。

村木 理英



問 「認定こども園」の整備は場当たりのではないか

答 周辺道路も含め地域一体の抜本的な整備を行う

農業用水路の対策はどうか
問 安全の確保はどうか。
市長 スクリーンを設置し、管理は地元を依頼する。



農業用水路に設置されたスクリーン

JR桃太郎線のLRT化
問 総社市・岡山市・JR西日本の叩き台を年度末に作成するが『東総社駅周辺の整備



車1台がなんとか通れる狭い踏切(東総社駅西側)

総社中央小学校区認定こども園の整備
問 地域一体の抜本的な整備が必要だと考えるが、どうか。

市長 できるものはやる。

問 朝のラッシュ時の混雑の認識はあるか。
市長 朝の状況を見たことがない。多くの意見を聞き、道路も合わせて開発していく。



毎朝、危険と隣り合わせの子どもたち

市長 その文言を盛り込む。も検討する』という文言を入れるべきではないか。

朝のラッシュ時の混雑の認識はあるか。
市長 朝の状況を見たことがない。多くの意見を聞き、道路も合わせて開発していく。

難波 正吾



問 水路の転落防止柵の設置状況はどうか

答 県警指示分で進捗率は30%

問 岡山県は水路への転落事故が多いと、県警からの警告、防止柵の設置要請がなされたが、進捗状況はどうか。

建設部長 平成27年度の県警指示分で2523mあり、現在の残延長は1756mで、進捗率は約30%だ。地元の土木担当の要望分は4216mあり、残りは3950mで、進捗率は約6%だ。



水路への柵の設置により安全が図られる

住宅政策について

問 市営住宅は建物自体が劣化している。補修は随時やら



市営住宅には新たな住宅構想が求められる

加藤 保博



問 災害支援時の運搬は運送業者と連携するべきでは

答 職員を派遣することで日本一の迅速な支援をしている

問 市職員はトラックによる長距離、長時間の運転は不慣れである。現地での支援活動の疲れも加わる。安全性が大変危惧されるがどうか。

総務部長 運転も活動も十分休養を取るよう指示している。

問 運転だけでもプロに依頼してはどうか。
市長 有償ということになると経費が必要になる。

問 真の支援には相応の負担は当然だ。速さも大切だが、万全な支援体制を整えるべきと考えるがどうか。
市長 検討したい。

全国発信について
問 他県には自治体と連携し、自社のトラックのボディ全面に地元の名所風景、特産物、ゆるキャラなどをラッピング

ゆるキャラなどをラッピング

している例がある。全国を走り、PRに最適である。本市でも導入してはどうか。
市長 良い提案を頂いた。協会、個人も含め運送業の方と協議を進めたい。

地産地消について

問 現在販売中の小学校カレーは愛媛県で製造されている。その中に総社産の野菜などが少しでも入っているのか。
産業部長 入っていない。

問 本市は、地産地消を推進している。市の姿勢として筋が通っていない。今後の製品に導入できないか。
市長 当初は考えたが、採算面で断念した経緯がある。再度検討したい。



三宅 啓介

ドライブレコーダーの活用について

問 公用車による事故は、近年どの程度あるか。また、公用車のドライブレコーダーの設置状況はどうか。

市長 公用車による事故は、平成26年度に2件、平成27年度5件、平成28年度8件で、平成29年度は8月までに2件あった。

総務部長 公用車は約150台あるが、ドライブレコーダーは設置していない。ただし、雪舟くん9台と消防署の救急車等6台には着けている。
問 公用車へのドライブレコーダーの設置強化と、各種団体への補助を考えるとどうか。

市長 市民などお客様を乗せ

問 公用車へドライブレコーダーを設置しないのか
答 お客様を乗せる市の所有バス等に設置していく

る市有バスなどは、今後着けていく。設置補助については、現在は考えていない。

地食ベオンラインショップについて

問 利用状況と収益は幾らで、人気商品は何か。

産業部長 現在までに322人が利用し、107万8千円を売り上げ、13万2千円の利益がある。消防署カレーが人気で1298個を売っている。

問 商品ラインナップをもっと増やすべきだがどうか。

市長 市内の民間で販売している商品も充実させ、オンラインショップに掲載していく。また、商品を買う時点でクレジットカードが使えないなど、手続き上の不便さがあるので、買う手続きを簡素化する。

総務生活委員会

当委員会で審査した案件は、8月定例会では議案4件であり、全て原案どおり可決しました。

主な内容は次のとおりです。

● **総社市大規模災害被災者の受入れに関する条例の制定について(議案第45号)**

問 市民が災害に遭遇した場合、今回の条例にあるような救済がされるのか。

答 生計中心者が亡くなった場合には、災害に基づく法令から500万円が支給されるなど、各種制度がある。市民の安心安全を優先したうえで、受入れの対応をする。

問 総社市民のいざというときの受入体制はどうなのか。

総社市民にとってもメリットのある条例であり、それが最終的に大規模災害に役立つということが順番だ。その辺りはどうか。

答 市内で災害が発生した場

合、市内の民間住宅をみなし仮設として借り上げて、そこで被災者の方を支援するということを想定している。あくまでも総社市を最優先に考え、総社市に災害がない場合に受け入れていきたい。

◎ 以上のような質疑、答弁の後、委員間自由討議を行うなどの審査を行い、全員一致で原案を可決すべきであると決定されました。次に、村木委員から本件に関連し

附帯決議案が提案され、全員一致で附帯決議を付することに決定しました。(附帯決議を13ページに掲載)

● **平成29年度総社市一般会計補正予算(第2号)(議案第51号)(所管部分)**

《補正予算の主なもの》

・フォーラム開催経費、そうじゃ吉備路マラソン大会共催負担金の増額

問 マラソン負担金について、1千万円増額の内容はどうか。

答 負担金の内訳はボラン

「議案第45号 総社市大規模災害被災者の受入れに関する条例の制定について」に対する附帯決議について

以下の事柄に配慮することを強く求める。

記

1 災害発生時には、総社市民を最優先することは言うまでもないが、市民のための住居環境の確保、助成など具体的な仕組みが整備されていないため、早急に制度として確立すること

以上附帯決議する。

平成29年8月31日

総務生活委員会

総務生活委員会で決定された附帯決議

ティアウエアに800万円、ゲストラナーに200万円、合計1千万円を見込んでいる。なお、ウエアの作成は今回限りである。
問 フォーラムは開催補助がなく一般財源を使うが、考えはどうか。

既に決まっていたので使えなかった。他にも補助事業はなかったが、今回、効果を検討して、やるべきという判断をさせてもらったところである。
● **一般会計決算審査特別委員会総務生活分科会**
◎ **平成28年度一般会計歳入歳出決算認定(認定第1号)(所管部分)**
問 公会計導入について、どういう準備をし、問題点はあ

行政視察報告

● **総務生活委員会 平成29年7月11日~12日**

- 防災の取組及び総合防災訓練について(愛知県岡崎市) 岡崎市では、平成20年に豪雨災害が発生し、その教訓をいかし、情報伝達、自主防災活動支援、防災マップの作成等を行っており、本市の災害対応に参考にすべく調査
- 移住・定住施策について(滋賀県米原市) 米原市では、JR東海道本線3駅周辺地域活性化事業、空き家対策推進事業、シティセールス事業を行っており、本市の人口増進施策にいかせるよう視察を実施

六名二丁目 防災マップ

備えあれば憂いなし 地震への備え

岡崎市の各地域作成の防災マップ

文教福祉委員会

当委員会では審査した案件は8月定例会では議案7件であり、全て原案どおり可決しました。

《8月定例会》

●総社市障がい者千人雇用推進条例の一部改正について(議案第46号)

問 数ばかりを追うのではなく、障がい者の方に喜びを持って働いていただくのが本来の目的である。定期的に働かされている事業所を訪問し意見を聞くなど、もっと現場と密着してはどうか。

答 今までは千人という目標にとらわれて、本人の気持ち等の意見集約が十分でなかったことは反省点である。離職者を減らせるよう本人や事業所の声を聞いて、皆が気持ちよく働くことができるよう力添えをしていきたい。

問 条例の名前を変えなければ

いけない理由は何か。障がい者雇用推進条例でいいのではないか。

答 これまで千人という数字が表に出る条例があればこそ、みんなが一致団結でき頑張っで達成することができた。今回も千五百人という数値を目標にし、障がい者を支援していこうという気持ちを込めて改正したところである。単純に障がい者雇用条例とするよとで、さらに質の向上につながるかと考えられる。

◎以上のような質疑、答弁の後、小西利一委員から「もっと中身について熟慮してから条例名を変更したほうがいいため反対である」旨の反対討論があり、その後、萱野委員から「質の向上があつたからこそ千人を達成できた。次の目標をしっかりと持って、千五百人を達成してほしい」旨の賛成討論、また、深見委員から「目的

は何かということをしつかり見つけて、今後どのような支援していくかということが大事である。名前にこだわる必要はない」旨の賛成討論があり、賛成多数で可決すべきであると決定されました。

●平成28年度 総社市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について(認定第4号)

問 地域包括支援センターは高齢者の把握がどこまでできているか。何らかの災害が起きたときに、地域包括支援センターの持つ情報をいかすことはできないか。

答 平成28年度から見守り台帳の整備を始めている。市及び地域包括支援センター並びに民生委員等が持っている情報に障がい者等の情報も加えて整備しているが、まだ全ての高齢者の把握ができていない。今年度、小地域ケア会議に見守り台帳を配り、実際の居住の情報等の手入れをして

もらっている最中である。災害時の利用については、危機管理室で、今の見守り台帳の中から抽出した情報を元に避難行動要支援者名簿を整備している。

■一般会計決算審査特別委員会 文教福祉分科会

◎平成28年度一般会計歳入歳出決算認定(認定第1号)(所管部分)

問 小児医療費が昨年度に比べ増えている。以前2億5千万円が上限だと言われていたが、将来どのように考えているのか。

答 平成24年度に医療費適正化委員会、上限を超えた場合は個人負担も考えてもらうと話をしたこともあるが、市民からは中学生までの無料化を望む声も多い。全体的に医療費は上がってきており、委員会の中で協議をしている。

問 障がい児の通学支援を考

委員会等の動き

- 7月6日 総務生活委員会(議員と市民の意見交換会での意見について)
7月14日 文教福祉委員会(議員と市民の意見交換会での意見について)
7月18日 産業建設委員会(議員と市民の意見交換会での意見について)
8月8日 文教福祉委員会(障がい者の雇用推進ほか)
8月14日 議会運営委員会(8月定例会市議会の運営ほか)

産業建設委員会

員を配置している。派遣登校支援員であれば学校間を超えて支援することが可能となるので、ニーズを聞きながら対応していきたい。

当委員会で審査した案件は、8月定例会では議案12件で、全て原案どおり可決しました。主な内容は次のとおりです。

《8月定例会》

●土地改良事業の計画の概要について(議案第48号)

土地改良事業(農地耕作条件改善事業総社地区)の計画

の概要を定めようとするもの。現況の地目は何か。農地法の規制がかかる土地になるのか。

答 現在の地目は、田、畑、一部山林で、農地法の規制がかかる土地となり農振農用地に編入している。

●平成29年度総社市一般会計補正予算(第2号)(議案第51号)(所管部分)

問 市道等修繕料700万円で、どのくらいの要望分の修繕ができるのか。

答 約60件の修繕ができる。

■一般会計決算審査特別委員会 産業建設分科会

◎平成28年度一般会計歳入歳出決算認定(認定第1号)(所管部分)

問 環境調査委託料とはどのようなものか。

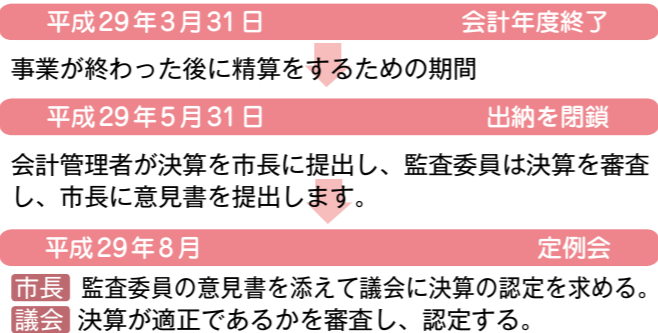
答 井尻野の西村地区で黒い物質が出るということで、その調査をした経費である。調査結果では、黒いものは藻やカビである。風向きの調査で

「決算認定」



●決算認定
決算は、総社市に入ったお金(歳入)や使ったお金(歳出)の実績です。
「決算認定」とは、議会が1年間の決算内容を確認し、確定することです。
決算審査では、法律に適合しているか、使われ方は適正かなどを審査するだけでなく、財政状況を比較して問題点を指摘し、今後の予算編成や行財政運営の改善に役立てるなど、大切な役割があります。

平成28年度「決算認定」までの流れ



み出した効果があった。

問 中央井手本線改良工事の完成は何年度か。また、終点はどこか。

答 平成31年を目標にしていましたが、国の交付金の配分により施工していくため、5、6年は延びると思われる。終点については、吉備信用金庫きびの里支店のある刑部三須線の交差点までと考えている。

市民の意見を基に所管事務調査を実施

5月28日に開催した議員と市民の意見交換会において、市民の皆様から頂いた意見を基に、事業の進捗を確認したり、適宜適切な事業執行がなされるよう要請したりするため、6月20日から8月14日にかけて、各委員会ですら管事務調査を行いました。主な調査項目と調査結果は次のとおりです。



所管事務調査を行う文教福祉委員会(6月22日)

調査項目	調査結果
雪舟くんについて (総務生活委員会)	雪舟くんの運行については、条例の規定により、毎年度、必要に応じて見直しを行うことになっている。今後においても、利用料金の見直し、あるいは運営状況、利用状況等を継続的に評価し、市民の意見を十分に聞いたうえで、利用者の立場に立ったサービスの向上に努めるよう要請を行った。
教育特区について (文教福祉委員会)	義務教育までの段階で、学校間で教育における格差が生じることは適切ではないと認められる。英語特区外の教育についても、特区とのバランスを十分考慮の上、英語教育を充実させるよう教育委員会へ要請した。
刑部三須線整備事業について (産業建設委員会)	国道180号から北側の市道刑部三須線の道路整備については、総社小学校から足守まで続く県道総社足守線のバイパス道として県施工での事業化を要望しており、早期に整備するよう担当課へ要請した。
中原雨水幹線の整備について (産業建設委員会)	当該事業は、平成11年度から平成21年度まで整備を行い、東総社中原本線から南については、整備が終了している。平成27年度以降ウイングバレイ入口から東総社中原本線までの整備が予定されている。災害対策として早期に整備完了するよう担当課へ要請した。
議会フォーラムの成果について (議会運営委員会)	議会フォーラムでの講演や市民との意見交換を通じて、議会活動や議会改革を進めている。今後さらに効果が上がるよう取り組んでいくこととした。

※その他の意見、調査項目、調査結果等については、市議会ホームページに掲載しています。更なるご意見がありましたらご連絡ください。

編集後記

市の木、もみじが美しい季節となりました。今号をもちまして、現編集委員による発行は最後となります。2年間にわたり、分かりやすい内容、インパクトのある見出し、市民の皆様を楽しみにしていただけの記事を目指し編集してきました。▼期間中には、広報広聴研究会を立ち上げ、調査研究を実施しました。そして、何よりも皆様のお声を聞くことが第一だと取りまとめました。▼今後、更に広聴活動を重視して活動してまいります。新たな議会だよりにご期待ください。(頓宮美津子)



議会だより編集委員
(後列左から) 深見昌宏、高谷幸男、岡崎亨一
(前列左から) 根馬和子、委員長 頓宮美津子
副委員長 小川進一、村木理英